

平成 23 年度日本 N G O 連携無償資金協力  
バットアンバン州ラタナックモンドル郡スタウ集合村  
コクチャー村・アンドックドルモイ村農道建設事業完成式典の開催

5 月 22 日(火)、日本 N G O 連携無償資金協力案件「バットアンバン州ラタナックモンドル郡スタウ集合村コクチャー村・アンドックドルモイ村農道建設事業」(被供与団体：(特活)豊かな大地(以下「G E J」という。))により建設された全長 3.4 k m の農道の完成式典が、バットアンバン州ラタナックモンドル郡スタウ集合村において開催されました。本事業は、地雷除去後に農地として利用されている土地に道路を建設し、農道として、また周辺の集落を結ぶ道路として活用するものです。

右式典には、プライ・チャン・バットアンバン州知事、ヘン・ラタナ C M A C 長官、G E J 岡田理事長の他、約 6 0 0 名の地域住民が参加し、日本大使館からは樋口義広公使が出席して、お祝いのスピーチを行いました。このプロジェクトは、2012 年 1 月 17 日に贈与契約が結ばれ、本年 5 月に工事が完了、この度の完成式の運びとなりました。

式典では冒頭、岡田理事長より、農道建設の整備経過につき説明があった後、「住民により道路が維持されることが重要である。」旨述べられました。

続いて、C M A C のラタナ長官から、日本のカンボジアの地雷処理に対する支援について感謝の意を表した上で、「G E J は、日本政府の支援により C M A C が地雷除去を行った土地に住む住民に対し、農業訓練と生活・生産基盤の整備を行っている。このたび日本政府の支援で農道が建設され、住民の生活向上に寄与することが期待される。」と述べました。

さらに、樋口公使から、住民にとって重要な農道建設の実現に努めた知事や村長に感謝の意を表した上で、「カンボジアにとって地雷を除去することが農地を拡大するために欠くことができないことで、今回実施された事業のように地雷除去と農道建設が協同で行われたことは非常に重要なことである。この農道建設によりスタウ集合村の経済及び社会開発が促進されることを望む。」と述べました。

最後にプライ・チャン知事が「日本政府と日本国民がカンボジアの発展のために支援してくれていることに大変感謝している。建設された農道による農業生産及び就労機会の増大が住民の生活の向上に寄与することを期待する。」と述べました。

その後、岡田理事長、樋口公使、プライ・チャン知事及びヘン・ラタナ長官によるテープカットが行われ、農道の視察を行い、式典は終了しました。

(次頁に式典時の写真を掲載)



樋口公使のスピーチ



テープカットする樋口公使



完成した農道を視察